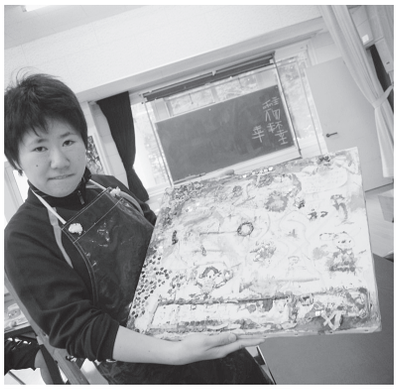
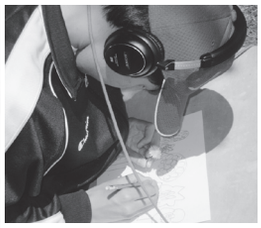
TSK
カナンの園
106

2012年3月に完成予定の「芸術・造形棟」
（通称『さんあい美術館』）

一人ひとりの筆から点があらわれ、
線が描かれ、形ができあがる。
それに様々な色彩が加わる。
複雑な思いが
「絵画」として表現される。
語る言葉以上のものが出てくる。

さんあい美術館

美術の話になると、「私は絵が下手だから」「どうしても上手に描けないから」などと敬遠する人が多い。何をもって「上手」とか「下手」といえるのだろう。

三愛学舎では、「喜びをもって表現することが自分を高め、人とのつながりを広げ、生活を豊かにする活力につながる」と掲げて表現創作活動を大切にしている。

美術の知識がなくてもいい、自分の内面からわき出てくるものを自由に表現することが大事だ。その自由さ、快活さ、不思議さが人の心を揺さぶってくれる。自分のあるがままの姿を、自分の魂を叫ばせたらそれでいい。

抽象的な内面の世界を具体的なものにすることが表現創作活動であろう。

２０１０年3月にフランスのパリで「アール・ブリュット・ジャポネ展」が開催された。日本の障がいのある人63名の芸術作品展である。岩手県からも9名の作家が出品し大好評であった。

「障がい者の作品だからすばらしい」のではない。「見る人に感動を与え、すばらしい作品がたまたま障がいをもった人たちの作品であった。」と捉えたい。ノーマリゼーションの考え方が大事だろう。

三愛学舎の構内に「芸術造形棟（通称　さんあい美術館）」ができる。表現活動の励みになればいい。また、生涯学習の場として活用してもいい。

三愛学舎校長
澤谷常清

No.106
発行日／2012年３月15日
編集／社会福祉法人カナンの園
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町
中山字大塚4番地7
TEL 0195（36）1026
FAX 0195（36）1027
ホームページ
http://www.canaan-jp.net
E-mail/honb@canaan-jp.net

顔の見える関係つくり

盛岡圏域でのネットワークについて

ヒソプ工房　施設長・サービス管理責任者
阿部孝司

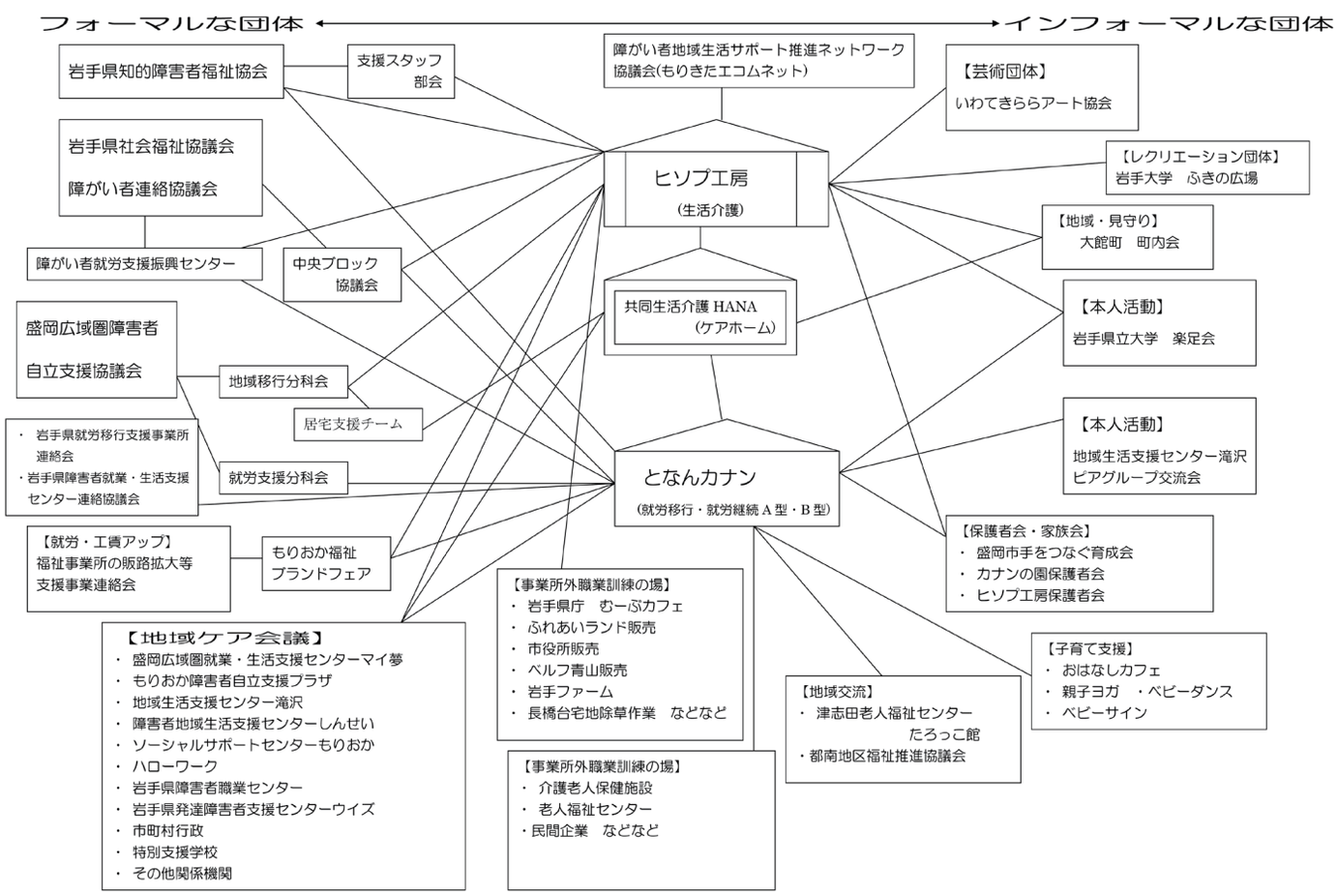
社会福祉の流れは、巨大な入所施設（コロニー）を、街場から離れた山の中に作り箱物のサービスの中で保護された生活をしていくのが幸せだ、社会福祉の理想の形だと信じられていた時代がありました。その後、北欧からノーマライゼションの理念が導入され、箱物のサービス（レジデンシャルソーシャルワーク）から、地域福祉でのサービス（フィールドソーシャルワーク）へと大きな転換を迎えることになりました。日本の社会福祉の考え方は、現在も「自助・共助・公助」の流れが基本となっていて、家族単位や地域単位での助け合いを福祉の出発点としていて、公的なサービスは最後の手段として使っていこうというような歴史的な流れがあります。このことは、助け合いの地域を形成してきた背景がある日本独自の相互扶助の仕組みがあるからだろうと思います。

現在、「社会保障と税の一体改革」が議論されていますが、今後ますます公的サービスだけで一人ひとりの生活を支えていくというのは、不況や少子高齢化、また、核家族化や単身化等の世帯の縮小化に伴うコミュニティの希薄化などの閉塞感を迎えている日本社会では難しい面があるのだろうと思います。

現在、ケアマネジメントに基づいた個別支援計画を作成する場合、地域での社会資源（人、サービス、制度、情報など）をしっかりと調査して、フォーマルなサービスとインフォーマルなサービスを上手に活用して利用者の生活をデザインしていくことが求められています。具体的にはネットワーキングは、情報交換，問題解決，学習，資源開発，地域づくり等を目的に，課題にかかわる関係機関，専門職，住民が中心となって形成されるものですが，最初は情報交換のみでのネットワーキングでも、次のステップとしては共通の目標や具体的な課題達成プロセスや期限を決め、それぞれが具体的な役割をもって参画していこうという意識をどのようにつくって行くのかが「ネットワーキングの肝」であるように思います。

盛岡にある「ヒソプ工房」と「となんカナン」のネットワークの図を示しましたが、様々な公的な障がい関係団体や就労に係わるネットワーキングを形成していくのはもちろん重要ですが、生活

盛岡圏域のネットワーク図



共に歩む地域つくり

二戸圏域ネットワーク

カナン牧場　施設長
菅生周一

県北圏域は自立支援協議会が二戸と久慈二カ所に設置されており、実際の活動圏域となっているため、二戸圏域としてのつながりを提示する。

私どもは児童・教育施設から地域生活・日中活動と必要とされる場の創出をしてきたが、その何れもが圏域内においては重要な役割を担っている。しかし、全体から見ると圏域南部地域に偏った展開になっている。たとえば圏域で33カ所設置のケアホームの内26カ所は奥中山地域であるように。社会福祉事業団中山の園と私どもでそれぞれが自己完結出来るほどのものを持つような存在になっているが、そうであってはならない。

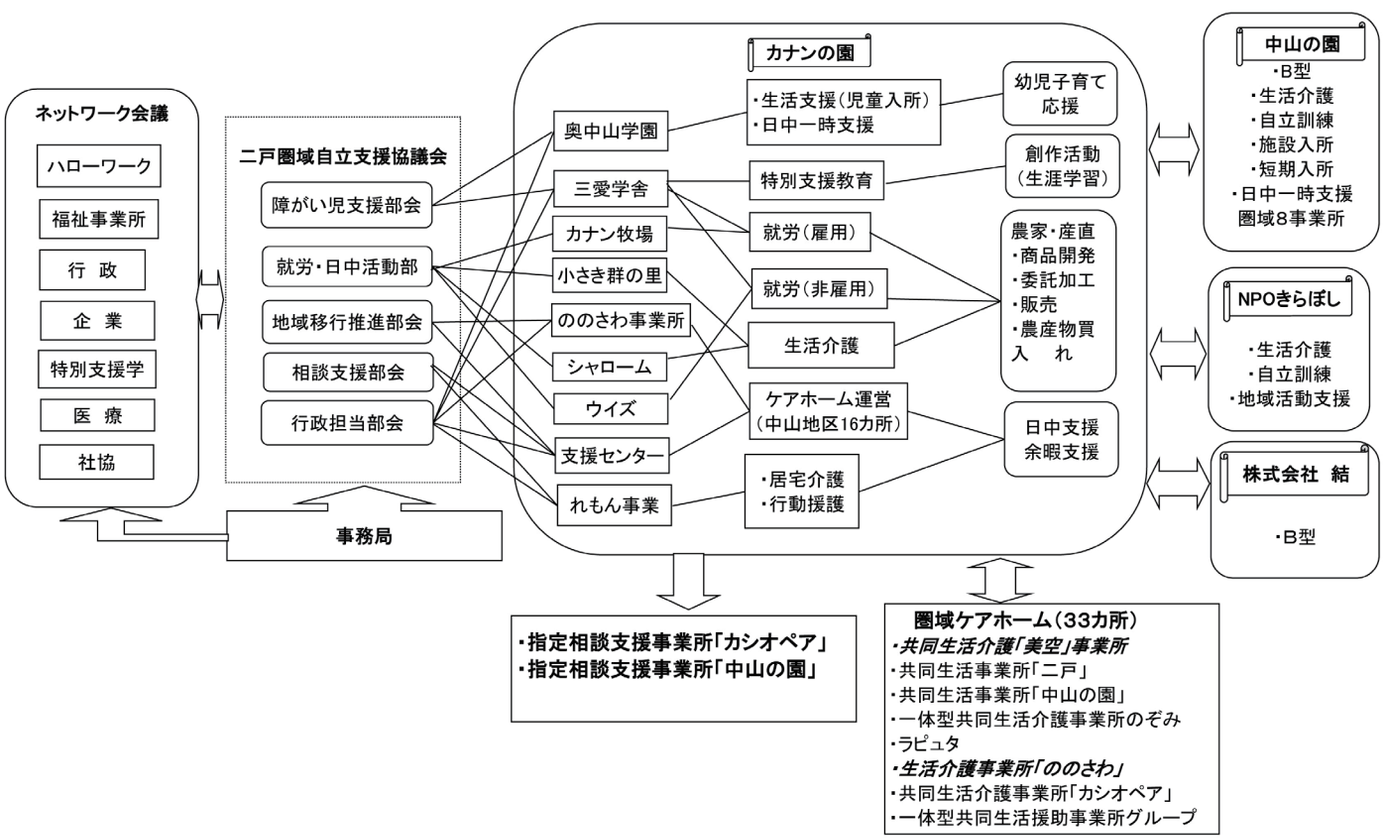
一人一人が自ら願う所での生活を実現するためには、地域によるサービス格差があってはならない。広範な展開がなされることが必要である。私たちは持てる資源をそのために提供し、共に連携しながら、地域を作ってゆくことが求められている。

法人の枠を越えた展開を進めることが更に重要になろう。そして連携は福祉と農政というように行政をも横断してつながってゆくことが大切である。地域の基幹産業はあくまでも農業である。共に歩むことが出来るならば豊かな地域作りを進めることが出来るであろう。

をより豊かに深みをつくっていくためには、インフォーマルなネットワークをどれだけつくっていくかが重要だと思います。地域の様々な活動の繋がりの中でどれだけ顔の見える関係をつくっていけるか、コミュニティが崩壊していると言われる現在、当事者である彼らが、新たな社会や地域を創造していく「つながり方」の意味を教えてくれているようにも思います。

二戸県域のネットワーク図

（一戸町・二戸市・軽米町・九戸村）



NEWS

●――のぞみ

今年のクリスマスはホームパーティー

今年のクリスマスの祝会は、全ホームが地域の中に引っ越しをしたこともあり、ホームにお客さんを招いての形となりました。職員にとっては初めてのことだったので、メニューの検討から始め、食事へ配慮している方もいてヘルシーでかわいらしく見えるものを作りたいと数週間前から考えていました。ホーム内の飾りつけをするとホームの皆さんの気持ちもクリスマスへと向かい盛り上がっていきました。かわいい食器、ペーパーナプキンなどの準備をしながら当日を迎えました。

当日は皆さんが稼働日に出かけてから15名分の食事を作り始めました。予想以上に細かい作業に苦戦しながらも、皆さんが喜んでくれることを期待して作りました。ページェントも終わり盛り付けを始めると予想以上に時間がかかってしまい、サンタさんがくる時間にも準備の途中でしたが、慌てている職員に「大丈夫だよ」と笑って言ってくれる方、サンタの帽子をかぶりながら楽しそうに準備を手伝ってくれる方、自分も何かしたいとずっと職員のそばにいた方など、準備から皆さんと一緒に出来て良かったなと思いました。ミニトマトとジャガイモで作ったサンタクロースやブロッコリーのツリー、水菜のリース等を見て「サンタさんだ!!」等など会話も弾み、保護者や労働の職員、他のケアホームの方も一緒に食事を楽しみ、更にサンタクロースもホームに来てくれて、とても楽しいひと時になりました。

来年のクリスマスも皆さんと一緒に素敵なパーティーができたらなと今から楽しみです。

（ののさわ事業所　柏葉由希子）

サンタの帽子ではいチーズ♪

美味しいクリスマスディナーでした。

●――三愛学舎

門出の日に

1月21日に、三愛学舎専攻科2年生の「成人を祝う会」が催されました。これは、毎年新成人を迎える専攻科2年生とそのご家族、後輩、支援者、関係者が一堂に会し行われる、大きな節目の行事です。

専攻科2年生は当日に向けて、「二十歳の決意」を考えて文章にしたため、気持ち作りをし、本番に思いを馳せながら過ごしてきました。

そして迎えた式の当日、振袖やスーツに身を包んだ新成人12人が颯爽と登場すると、その美しい姿、凛々しい姿に会場からはどよめきが。新成人たちの表情も晴れやかでした。

ご家族からは、「あなたの笑顔に救われてきました。」「今日一日、今この時間の大切さを、20年をもって教えてもらいました。」「何気ない一日を大切に、感謝をもって精一杯これからも生きて行ってください。」等、深く温かく、胸に迫るメッセージが伝えられ、新成人たちの決意を新たにさせていました。

新成人からは、「卒業したら、仕事を頑張ります。」「一生懸命働いてしっかり給料を稼ぎ、社会貢献したいです。」「これからは親孝行をしていきたいです。ここまで育ててくれてありがとう。これからもよろしくね。」といった内容が話されました。

新成人たちの実に堂々とした発表ぶりを見て、会場の誰もが感激し、彼らのこれからの活躍に期待を膨らませました。新成人たちにとっても、これまでの人生に感謝し、これからの人生に希望をもって踏み出すために、意義深い時間となったようです。

（三愛学舎　中村浩紀）

お母さんからの暖かいメッセージ。

二十歳の決意を堂々と述べた。

●――生活支援センター

うんめいのひと

私は、２０１１年11月28日火ようびに、こんいんとどけの、ていしゅつを、しました。つきあっている、かれと、いっしょにしました。さいしょは、きんちょうしたけど、はなしをしていたら、おたがいのきもちがわかる人だなと、おもったし、むこうも、やさしいので、よかったです。

12月7日に、しきを、あげました。けっこんしきの、まえどりも、きんちょうしました。

きものを、きたときから、きんちょうしました。おたがいに、かたくなりすぎて、いました。ドレスを、きて、おたがいのケーキバイトのときに、だんなさんの、かおに、生クリームつけて、なんとか、ふいてあげました。いろいろな、しんせきや、かぞく、せわに、なっているかいしゃや、センターの、スタッフも、きてくれて、うれしかったです。いきなり会社の、なかまもくるので、おどろきました。

いまは虹で、せいかつしているので、土曜日にかえれば、かていの、せいかつを、して、りずむを、うまくしています。かんきょうが、かわって、自分としては、いいなとおもいます。

（ケアホーム七色の虹　沼台真由美）

追伸　ご主人との出会いは大切な秘密だそうです。ご主人との様子を教えてくれる時の真由美さんは、幸せが溢れ出ている笑顔です。これからも、お幸せに！

（生活支援センター　服部美佳）

結婚指輪の交換です。

ケーキバイト、「口あけて～！生クリームがつきそう！」

●――ヒソプ工房

B（僕たちの）B（ビューティフルな）Q（休暇だより）

今年度は3月の震災以降どうも〝自粛〟ムードが世間から笑顔を奪っていたかのように、ただ時間が過ぎていく様な感じさえしていました。それは利用者さんも同じだったと思います。そこで今年度は各ケアホームで行っていた余暇活動を合同で行おうと奮い立った訳ですが、「さて、何をしよう」からのスタートでしたので、ありきたりですがバーベキューを開催する事にしました。真夏の開催だったので利用者さん、招待した世話人さんにもお酒を振る舞い「これぞバーベキュー！」を堪能してもらう事にしました。おおよそバーベキューという『行事』は日中に行い、陽のあるうちに片づけて…なんてものが通例だと思います。作る楽しさから知ってもらいたいと炭に火を点けるところから夕方に始め、終わったのも20時過ぎ。大変かなとも思いましたが、初めて会った者同士、男性・女性、利用者さんと職員わけ隔てない満面の笑顔。顔が赤いのは暑さのせい？夕陽のせい？はたまた既に酔っていたかは想像におまかせしますが…。

大量に購入したお肉や野菜等が底をつく頃にはすっかり陽も暮れ、いよいよ第2幕の花火大会！暗闇の中、花火の赤や緑といった鮮やかな光の中に映るのは、やはり利用者さんの笑顔でした。

今回の活動は「笑顔」をテーマに行いたいと始めたのですが、実のところその笑顔で元気になったのは職員でした。様々な不安の中開催したものの、我々の想像を遥かに超えた〝楽しむ能力〟が利用者さんには備わっており、またそれを知った以上その上を行く企画を考えなきゃなんて悩みも出てはきましたが、今後も笑顔の続きが見たいと強く思うのでした。

（ヒソプ工房　渡邊英紀）

もう食べられるね!!

夏といえば、花火だね!!

NEWS

ことばひろい　第4回

心の声

ヒソプ工房副施設長　浅沼俊一

私がヒソプ工房でTさんと出会ったの今から18年前になります。言葉数が少なく、自分の気持ちを表現することが難しいTさんにとって、気持ちをうまく表出できない、伝えられないもどかしさから、相手に対して攻撃的な態度をとってしまうことも多く、当時私自身も関わり方に悩んでいました。Tさんに気持ちを伝える相手として私自身が認めてもらえるように、Tさんとのコミュニケーションを模索していた時期でした。

そんな中、最愛の父との別れがあり、ご家族の悲しみはもちろんでしたがTさんの気持ちを考えると私自身もどうしてよいかわからず、どこまで父親との別れを理解しているのかもわかりませんでしたが、表情からはTさんとして事実を受け止めているように感じました。しばらくしてヒソプ工房でも「ビデオ」と話しかけてくることが多くなり、後日母親に尋ねると、父親が映っているビデオを観て、毎晩父親に会っていると聞き、切ない思いに襲われました。

その2年後に、かつて長い間担当であった職員が亡くなり葬儀が行われました。親族の方やカナンの園の職員、利用者、保護者が参列する中、Tさんは父親との別れを経験して間もない中での出来事に、気持ちは複雑だったように思います。大勢の人が集まる場所が苦手なこともあり、葬儀の最中も会場に入ることはできず、車に乗ったまま降りることに強い拒否がありました。Tさん自身にも葛藤はあったと思いますが、私自身にも葛藤があり、無理強いはしたくないが、故人もTさんも本当は会って最後の挨拶をしたいはず…、私は支援者としてではなく、私個人として自分の気持ちを素直に伝えました。故人とTさんの関わりは深く、奥中山学園の時代からお世話になった人であることや、故人のTさんに対して想い等を伝えながら、私のエゴかも知れないと思いながらも、Tさん自身にも一つのけじめとして参列してほしい、後悔してほしくないことを伝えました。参列者の献花が終わろうとしているときに、Tさんは自分から車を降りて私と一緒に会場へ向かい献花することが出来ました。その時にTさんが何を感じていたのかは私にはわかりませんが、Tさんの遺影をジッと見つめ言葉ではなく何かを伝えようとしている表情に、私自身の感情と涙が溢れだし、支援者して故人から託された想いや、私自身がこれからもTさんやヒソプ工房を支えたいという強い想いも同時に込みあげてきたのを記憶しています。

その後もTさんとの関わりの中で、Tさんの言葉（心の声）を聴くことができているかどうかはわかりませんが、私に話をしてくれることが増えてきたことを考えると、気持ちを受け止めてくれる相手として認めてもらえていると感じています。傾聴や共感…言葉では簡単に表現できますが、私のTさんへの想いが伝わったことで、私なりの聴き方で私なりの心の声を感じることができたのだと思っています。

私自身、自分の気持ちを表現するときに言葉で伝えることが多くなりますが、言葉だけでは伝えられないことや、その言葉に惑わされることも少なくないと思います。利用者の言葉をそのまま受け止めてしまい、心の声に気が付かないことも多くあると思います。言葉での表現が難しい方に対しても同様に話したいことが話せる、気持ちを表出できる信頼関係をこれからも築いていきたいと思っています。Tさんから教えいただいた心の声に耳を傾けるということを基本としながら、今後も仕事に携わっていきたいと思っています。

からし種

※１粒のからし種は約１～２㎜
（聖書　マタイ伝13：31）

心あたたまる小さなお話

お宝ゲット！

休憩時間などを利用して、巾着や雑巾など小物を作っているAさん。先日、余暇支援でリサイクル店に行った時、小さなスペースの「端切れコーナー」を発見。「この生地は、ポケットティッシュのケースにいいかなぁ」「こっちのは巾着にする！」「これは、○○さんにプレゼントしたい！」「あと、これとこれと…」と大盛り上がり。「Aさん、そんなに買えないよ」と私の声に、すかさず店員さんが「端切れは全部半額です！」。それを聞いたAさんは満面の笑みで、かわいい柄の布をたくさん選び大満足でした。

ちなみにAさんは、シャロームでも力自慢の175センチ、75キロの男性です!!　（シャローム　山田春夫）

いつもの朝の光景

出勤後、利用者のみんなが仕事前の準備で、うがい・手洗い・トイレなど、慌ただしくしているなか、鏡の前で悪戦苦闘しているIさんが印象的!!　何かと思えば、ものすごい寝ぐせとの格闘です。パーマをかけた様に素敵に流れている時もあれば、どうした?!…という位飛び跳ね爆発したような時など様々あります。新卒だったIさんとここは働く場で身だしなみは社会人として大切な事を職員と確認。それから毎朝職員と共に戦ってきました。もうすぐ1年。最近ではひとりでも出来るようになり、成長しているのが見られます。そのIさんももうすぐ先輩！　そろそろ家から出発時点で身だしなみに気をつけることができることを期待しています。Iさん頑張れ!!（となんカナン　下妻一人）

お・は・よ・う!!

眠い目をこすりながら早朝に出勤すると、夜明け前のうす暗い中から「お・は・よ・う!!」と声がします。超ビックリで一日が始まります。毎朝Tさんの笑顔と元気な「お・は・よ・う!!」のあいさつが私を迎えてくれます。眠い時、体調の悪い時でもTさんの笑顔と元気なあいさつを聞くと、ヨシッ、今日も一日全力で頑張るぞ、という気になります。

Tさんは毎日ホームのお掃除や、タオルたたみ、配膳の準備等を行っています。あゆみホームの暮らしを支える一人です。自由時間には私の隣に座って、絵を描いたりビーズ刺しをしたりと楽しんでいます。だけど…部屋の中には〝嵐〟がいっぱい!!…そんなTさんですが、私が退勤する時には「あ・し・た!!あ・し・た!!」と一生懸命に言うのです。そんな姿を見るとどんなに疲れていても、元気をもらえます。Tさん毎日元気をくれてありがとう。「また明日ネッ!!」。

（ののさわ事業所　武田健二）

ぼくの好きなもの

チャーシュー麺が大好きなSさん。記憶と記録を頼りにすると、これまでの誕生会メニューは決まってチャーシュー麺!!　1月の誕生会メニューを聞くと…やはりチャーシュー麺!!食べ物の広がりを持って欲しいという願いを込め、第2希望・第3希望もSさんに聞き、今年はハンバーグに決定。しかし、誕生会が来る前に、「来年の僕の誕生会はチャーシュー麺にしてね！」と…。まだ、今年の誕生会も来ていないのに…。理由は一つ「肉が3枚だから…」。肉が大好きなら肉料理にすればいいのに。でも、やっぱりチャーシュー麺なんだとか。来年は何て切り出そうかな?　（ヒソプ工房　澤口清子）

初めての飛行機

本科3年生の修学旅行では、沖縄に行きました。沖縄に行くことが決まってから「飛行機は大丈夫かな」と心配する人たちがいました。旅行前まで、楽しみでもあり、ドキドキでもありで過ごしていました。

仙台空港に着いて、飛行機に乗りこむ時もHさんは、「わ～」と泣き出し、なんとか無事に皆が席について、いよいよ離陸となりました。飛行機が動き出すとともに、「ひゃ～」と泣き出すHさん、ひたすら目をつぶって「イ～」と叫ぶF君、飛行機が風でゆれるたびに「わ～」とそれぞれが声をだしていました。

しばらくして、飛行が安定すると、気持ちも少しゆとりがでたようで、立ち上がって機内を歩いて窓から景色を眺めたりしていました。そのうち「今度はハワイに行ってみようかな」と余裕のある発言がありました。沖縄で旅行を満喫した後の帰りの飛行機では、Hさんは元気な声で再び叫んでいました。

（三愛学舎　今泉浩明）

はじめての新年会

私は、5年間三愛と学園で過ごして4月2日カナン牧場に入社しました。働いて楽しい事は、会話と仕事が楽しいです。宿舎のみんなと従業員の話をするのが楽しいです。仕事も楽しいけど時々注意されると少し落ち込みます。出荷の時に1回失敗してしまって自分で〝やってしまった〟と思ったけど、次から気をつけようと思いました。新年会は、初めてだったけど楽しかったです。夕食のステーキがおいしかったです。最初は、ビールとお茶とジュースしか出なくてビールは、飲めなかったのでカルピスチューハイを飲みました。職員の鈴木さんが一缶くれました。温泉も気持ちよかったです。宴会が終わったあとはすぐに寝ました。もらったチューハイは、宿舎に持ち帰って飲みました。

（カナン牧場　田野美栄子）

編集者　社会福祉法人カナンの園
〒〇二八―五一三三　岩手県二戸郡一戸町中山字大塚四番地七　☎〇一九五―三六―一〇二六

発行所　東北障害者団体定期刊行物協会（略称ＴＳＫ）
〒九八一―〇九〇七　宮城県仙台市青葉区高松一丁目四―一〇　頒価百円

EVENT CALENDAR　　４月～７月

●―――奥中山学園
4／8　入園式
5月末　親の会総会
6月末　親の会奉仕作業日

●―――小さき群の里
4／4　始農式
4／20　野沢タツミ姉召天記念礼拝
4／29　作業休業日（GW)～5／6
5／6　保護者会総会
5／26　毛刈りまつり
6／9　一本松礼拝
6月初旬　親の会奉仕作業日

●―――ヒソプ工房
4月下旬　健康診断
4／21　クラブ活動
5月上旬　保護者会総会
5／19　クラブ活動
6／16　クラブ活動
7月下旬　一泊旅行

●―――カナン牧場
4／2　入社式

●―――シャローム
5月上旬　さくら市

●―――ウイズ
5月上旬　さくら市

●―――となんカナン
毎週日曜日　礼拝
毎週月曜日　カフェおーでんせ休業日（変更あり）
4／27　健康診断
5／1～4　臨時休業

●―――三愛学舎
4／1～5　年始休業
4／6　2012年度前期始業式
4／9　2012年度入学式
5月 中旬　PTA総会
下旬　専攻科前期職場(校内)実習（～6月下旬)
6月 中旬　合同同窓会
7／26　夏期休業(～8／17)

●お知らせ

●HPリニューアル！
カナンの園のホームページが新しくなりました。「カナンの園」で検索ください。
現在、各現場の情報や商品紹介など作成中です。アドレスはhttp://www.canaan-jp.net/です。

●芸術造形棟完成:三愛
学校法人カナン学園・三愛学舎に芸術造形棟が3月に完成しました。次号には、詳細をお知らせしたいと思います。

●シャロームの「いわての味　奥中山高原のおせんべい」が第52回全国推奨観光土産品審査会・菓子部門にて（全国から４５９点出店）「厚生労働大臣賞」を受賞しました。

●小さき群の里「アドナイ・エレ展」が2012年１月22日（日）～30日（月）に、たくさんの方のご来場により、無事に終了することができました。ありがとういございました。また、２月21日（土）に開催いたしました「カナンの園ＩＮ東京」も多くの方々の支えの中で盛況のうちに終えることができました。感謝申し上げます。

●カナンの園は2012年度、40周年を迎えます。40周年事業として、以下の予定を考えております。詳細が決まり次第ご案内申し上げます。
記念礼拝：2012年11月24日（土）
記念行事：2012年９月中旬～下旬　2013年２月下旬～３月上旬
記念誌発行：2013年２月下旬

あとがき

東日本大震災から1年が過ぎました。たくさんの支援と祈りに感謝いたしております。（岡田）

●機関誌「カナンの園」では、読者の皆さまからの声もお待ちしております。機関誌カナンの園に対するご意見、ご感想を、事務局までお寄せ下さい。

カナンの園法人事務局
〒028-5133
岩手県二戸郡一戸町中山
字大塚4番地7
TEL 0195（36）1026
FAX 0195（36）1027
郵便振替 02330-6-6631
ホームページ
http://www.canaan-jp.net
E-mail/honb@canaan-jp.net

本誌は再生紙を使用しています。

社会福祉法人カナンの園

奥中山学園（児童入所）
☎0195-35-2314・FAX 0195-35-3406

生活介護事業所　小さき群の里
☎0195-35-3080・FAX 0195-35-3080

共同生活介護事業所　ののさわ（ケアホーム1～6）
☎0195-35-2232・FAX 0195-35-3405

生活介護事業所　ヒソプ工房
盛岡地区ケアホーム（1～4）
☎019-646-8581・FAX 019-646-8582

生活介護事業所　シャローム
☎0195-35-2883・FAX 0195-35-2884

就労継続支援B型事業所　ウィズ
☎0195-36-1120・FAX 0195-36-1121

多機能型事業所　カナン牧場
☎0195-35-2583・FAX 0195-35-3145

共同生活介護事業所　美空（ケアホーム1～10）
☎0195-35-3844・FAX 0195-35-3840

居宅介護事業所　れもん
☎0195-35-3844・FAX0195-35-3840

多機能型事業所　となんカナン
☎019-681-3004・FAX019-637-2601

学校法人カナン学園

三愛学舎（特別支援学校・知的）
☎0195-35-2231・FAX 0195-35-2781